

令和 7 年度 地域連携推進会議

事業所名	第一第二さくら寮 アンソレイユ
日時	令和 8 年 1 月 23 日金曜日 10 : 00 ~ 12 : 00
開催場所	サキヤ 3F 会議室
構成員	計 11 名 管理者 1 名 サービス管理責任者 1 名 生活支援員 1 名 管理者（福祉支援センターアップル）1 名 H 様（利用者） A 様（利用者） M 様（利用者ご家族） N 様（利用者ご家族） さぽねっと小郡 職員 小郡市福祉課 職員 訪問看護ステーション 職員
議題	①開会 ②管理者挨拶 ③自己紹介 ④会議事項 ●地域連携推進会議について ●事業所と地域の連携について ●事業所の状況について ●法人の経営状況について ●質疑応答 ⑤閉会

議事録 （①、②、③、⑤略）

●地域連携推進会議について

今回は 2 事業所（さくら寮・アンソレイユ）の会議を纏めて行います。

共同生活援助事業として、生活のサポートが必要な方が利用されています。

さくら寮は比較的障害が軽い方、アンソレイユは障害が重い方や高齢の方が利用されています。

本人が想っている生活が実現できるように、利用者自身に合った支援を行っています。さくら寮とアンソレイユで分けている部分もありますが、どちらも同じように利用者の希望に沿って支援が出来るようにしています。

夜勤者は各寮に常駐し、利用者が居る時間は職員が対応できるような体制を取っています。

●事業所と地域の連携について

サービス管理者が窓口となり、相談支援員と密な連携を取っています。

利用者について、困った事・入院など、何かある度に相談支援員と連携を取っています。

学校関係では、小郡特別支援学校・大宰府特別支援学校・筑後特別支援学校からの実習生の受け入れを行っており、日中活動だけではなく、GH への入居受け入れも行いました。

情報発信としてはインスタグラムを活用し、施設のイベントや活動を定期的に投稿しています。写真については各利用者に掲載の確認を取っています。

地域のイベントとして、「まごころマルシェ」「てんとテン つながるマーケット」「おごふくフェスタ」「ふれあいオリンピック」に参加し、今後も積極的に参加を考えています。

地域交流として、近隣の方が施設敷地内で野菜の無人販売を行っています。

●事業所の状況について

現在の入居者数

さくら寮 計 16 名（定員 16 名）

アンソレイユ 計 9 名（定員 10 名）

年齢は 10 代から 60 歳以上の方も居られ、幅広く受け入れを行っています。

障害の程度は様々で、男女分けていない GH もありますが、特にトラブル等は起きておらず皆さん仲良く過ごす事ができています。

アンソレイユについては、自分で入浴ができない方、高齢で支援が必要な方、能力が落ちてきて支援が必要になってきた方が入居されています。また、アンソレイユは外に出ることが苦手な部屋に籠ってしまう方に対しても、日中型なので常に支援員が出入りをしているため、安心安全を目指して支援を行うことができます。

●法人の経営状況について

昨年度は、預金と現金と売掛金を合わせた金額が借入残高を上回っているため、実質無借金となるため健康的な会社運営が出来ていると言えます。

職員の定着率も高く、様々な地域の行事などにも参加できています。施設内では4～5人を1グループとしたサークル活動も計画しており、会社として応援が出来ている状況です。

●質疑応答

質疑① 地域の関係者より

・普段巡っている中では食材費や光熱費の高騰が課題になっている施設が多く、開設したばかりのGHでは赤字経営なので5年スパンで黒字に持っていきたいと話されているところもあった。そんな中、こちらは黒字経営だということで安心することが出来ました。

【回答】会社が設立されてから11年目になりますが、黒字になったのは5年目で、それまで辛抱できるのが経営者としての課題だと思っています。また、虐待の防止や不法行為の防止・監視についても力を入れており、研修を定期的実施するなどして対策を行っています。現在は、実質無借金経営となっているので、経営的な心配はありません。

質疑② 利用者家族より

・よくしていただけてます。経営については判りませんが、(今回の話を聞いて) 安心する事ができました。

・GHに入居する際に、最初は男女混合と聞いて驚きました。自分の周囲からも驚きの声がありましたが、姉の話を聞くといつも楽しそうで、会話が増えたりしているそうです。職員の方がいつも見守ってくれていて、お部屋の配置も考えてもらっていると感じています。配慮が必要な部分は配慮してもらい、楽しめる部分は楽しめているようです。今回の会議に参加させてもらったことで、経営のことなども聞かせてもらい、長くお世話になりたいと思っていますので安心する事ができました。お世話になっている職員さんもたくさん居て、姉からも色々な話を聞いていますので、長く一緒に過ごしてほしいと思っています。

【回答】男女混合について、精神科のドクターと意見交換を行っています。総合病院も男女分けているところがありますが、事例をみると、男女分けずに一緒に生活したほうが病状が良くなる率が高くなる傾向が見られているとのことです。ドクターにサキヤが男女混合だと伝えると、その方が症状が進まなくていいんじゃないかとの意見をいただいています。問題が起きないように、夜勤者にもしっかりやってほしいと申し上げています。

・（姉は）病院に長く入院していたことがあります。以前は男女別でしたが、男女混合になっているところもありました。男女混合のほうが身なりを気にしたりして（実際のような）社会生活が送りやすくなっていると思います。病院もそういう風になってきているんだろうなと感じています。

質疑③ 利用者への質問

（寮の生活は過ごしやすいですか。）

- ・ 過ごしやすいです。和気あいあいとしています。
- ・ いい生活を送っています。

（利用者や職員との関係はどうですか。）

- ・ 仲良くできています。

【職員】皆さん、苦手な方も居られますが、利用者さん同士で話したりしながら上手くやれてるように思います。職員も相談を受けながら対応しています。

（外出などはされていますか。）

- ・ 姪浜まで出かけています。鳥栖のアウトレットや、普段の買い物にも出かけています。
- ・ 小郡イオンに出かけています。一人で電車に乗って行けるようになりました。

【職員】（○さんは）今まで母と待ち合わせをして買い物に行っていました。母が発作を心配されていましたが、しっかり相談して一人での買い物に挑戦されています。

質疑④ 市役所より

・ 現場のことについては経験がなく判りませんが、経営状況について黒字での経営を続けていってほしいと思っています。

質疑⑤ 職員への質問

（仕事を辞めたいと思ったことはありますか？）

- ・あります。一時期はとてもきつかったです。
- ・（経営的に）本当に苦しい時期がありました。こういった施設には多いのですが、以前は放漫経営でした。私が代表取締役役に就任してから最初に行ったことは社員の給料カットだったため、辞めていった方も居られました。最初は血を流しながらやっていましたが、3・4年くらい前から経営も落ち着いてきました。会社の経営なので、苦しいこと・辛抱しないといけない事もあります。現在は私も月2回ほど夜勤に入っていて、利用者の方に親近感が湧いてきています。経営に余裕が出てきたので、利用者に接する事にも余裕が出てきました。

質疑⑥ 補足（職員より）

病院との連携も密に行っています。近隣の病院（倉岡医院）と、緊急時の入院・一般の病院では受け入れにくい検査（大腸検査など）・健康診断・体調管理などについて協力体制が取れています。

国の方針で、新興感染症への対策のために医療機関との連携を求められています。発熱者が出たときはすぐに検査を行ってもらっています。